

第14回(平成26年度)私立短大入試広報担当者研修会 分科会3報告書

運営委員：島崎千江子（大手前短期大学）

1. 目的

広報担当者の主たる業務の一つである「オープンキャンパス」に関心のある担当者が参加している分科会として研修内容を企画した。また、それ以外にも短大自体が抱える総合的な課題が存在すると考え、それらの課題を抽出し整理・検討する。

具体的には、主にオープンキャンパスにおける成功例や失敗例を情報交換しキーワードをまとめて発表後、グループごとに仮想短大を設立し、教育方針や広報計画などを創作し、特にオープンキャンパスを具体的に企画し実施案を発表する。また、受験生や保護者との相談コーナーを設けて役割分担し相互にグループ同士でロールプレイングを行い、受験生の立場で考える。

以上、参加者が仕事上抱える悩みをお互いに公表し情報交換することで、本研修会のテーマである「悩みの分かち合いと面白さの共有」を実体験し、リアルな仕事現場で活用することを目的とする。

2. 分科会スケジュールと内容

一日目

- ① 挨拶・分科会の趣旨目的について
- ② 自己紹介（事前課題を使った自己紹介）
- ③ 現状課題の抽出と整理
- ④ OC 経験談
成功例・失敗例グループ内で経験談としてまとめ、発表にむけて準備後発表
- ⑤ 一日目の簡単なまとめ

二日目

- ① 昨日の振りかえり（基調講演、分科会、事例報告を受けてのキーワードの確認）
- ② 仮想の短大の名称を含め開設（学科は参加者の短大が設置する「幼教・保育」で統一し、現状の業務に反映させる）
短大特長づくり・学びのポイント決定・就職支援・在学生、卒業生の活躍
- ③ 理想のOCづくりと案内チラシ作り・理想のOCをつくる
- ④ 自学資料・グッズ展示の人気投票
- ⑤ 発表準備・プレゼン作りとプレゼンテーションを行った
「あなたが行きたいオープンキャンパスはどの短大」で投票
- ⑥ OCにおける相談者対応のロープレと考察

三日目

分科会での発表準備と全体発表

3. まとめと感想

本研修会では、私立短期大学全体として広報担当者の方々に、様々な立場から必要なこと、重要なこと、気づいてほしいことなどを提示することにより自分なりに考える場になっていると私は感じています。「正解はない」という現実の中、試行錯誤することで日常業務や自己啓発に活用できることを期待しています。

分科会で冒頭に「自主的な行動と積極的な意見提案」などをお願いし、グループワークや種々の発表でそれが実現できたことは、さすが広報担当者のパワーを、再確認することができました。また、グループリーダーの方々が分科会運営を積極的に牽引して下さったことは、未熟な自分には大変頼もしくあり感謝しております。

ともすれば、参加前に想像されていた内容や期待と異なった感想を持たれたかも知れませんが、勤務年数や職務経験の違う方々が同様に提示された課題に真剣に、前向きに取り組んでいた姿が、この研修会ならではの醍醐味とも言えるのではないのでしょうか。研修会終了後も参加者同士で情報交換を行うなどメール討論の形をとることとし、長くメール共有していくツールとして活用したいと思います。

最後のアンケートでは「もう少し意見交換や話し合いができる時間が欲しかった」という内容の記述が複数あり、運営担当者の反省点として、あれもこれもと内容を盛りだくさんにし過ぎたことで消化不良になったのではと感じています。

今後はこれらの反省点を含め、より良い研修会を目指すとともに、短期大学が益々発展することを祈りつつ精進したいと思っています。

